

群馬県立太田フレックス高等学校【定時制課程】学校評価一覧表① (平成30年度版)(様式1)

羅 針 盤			方 策	第1回点検・評価			第2回点検・評価			
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策	
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動(授業等)を行っていますか。	① 完全な単位制の履修形態に満足している生徒・保護者が90%以上である。	履修登録後も個々の生徒の適性や進路目標に合わせた個別指導を適宜行う。							
		② 学年、学級がない中で、生徒の出席率を80%以上にする。	出席率データによる状況把握を基に、教員間で情報共有し支援する。							
		③ ゼミ(総合的な学習)の活動に満足している生徒が80%以上である。	ゼミを通して、生徒自身が自己と向き合い主体的に学習する態度を育成する。							
		④ 学校設定科目の内容に満足している生徒・保護者が80%以上である。	生徒の現状に応じて、必要な学力が身に付くように、指導内容や授業展開を工夫する。							
		⑤ 自分の学校が好きだと感じている生徒が80%以上である。	本校の特性を生かした教育活動と個に応じた支援・指導を展開する。							
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	⑥ 少人数制の利点を生かした授業内容に満足している生徒・保護者が90%以上である。	個々の生徒を観察・理解し、生徒の実態にあわせた授業づくりに全教職員が取り組む。特に、7月と12月に授業アンケートを実施して、授業改善に生かす。							
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑦ 学力が向上したと感じている生徒が80%以上である。	基礎基本の定着と主体的で対話的な学びを通して思考力・判断力・表現力を養う授業に全教職員が取り組む。							
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑧ SNSに関わるトラブルに巻き込まれることなく、健全な学校生活を送っている生徒が100%である。	SNSに頼らない人間関係づくりによる予防や日々の生徒の観察をより徹底し、適宜指導する。							
		⑨ いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。	定期的なアンケートにより状況を把握し、また集会等により、いじめ防止の啓蒙やいじめ発生の際は迅速な解消を図る。							
		⑩ 挨拶の励行や学校生活の中でのマナーや礼儀をできている生徒が80%以上である。	挨拶の習慣を身に付けさせ、TPOをわきまえた身だしなみを全教職員が積極的に指導する。							
		⑪ 交通マナー・交通ルールを遵守している生徒が100%である。	各ゼミごとの標語作成、「ひやり・ハット」アンケートや『交通委員会だより』を通じて定期的な自己啓発を図る。							
		⑫ 教育相談が充実していると感じている生徒が80%以上である。	管理職、教育相談係、スクールカウンセラー等と連携し、個々の生徒へ複数の教職員で支援を行う。							
		⑬ 学校行事チャレンジウォークに生徒の70%以上が参加し、90%以上が完歩している。	行事の意義理解と健康管理という生徒への事前指導を充実させるとともに、当日は生徒の的確な観察と支援を行う。							
	⑭ 学校行事フレックス発表会に満足している生徒が80%以上である。	日々のゼミ活動や部活動に力を入れ、充実した発表ができるようにする。								
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	6 計画的な指導をしていますか。	⑯ 進路指導が自分の進路検討や進路決定に役立つと感じている生徒が75%以上である。	進路関係諸行事のさらなる充実と『進路だより』の発行に加え、こまめに個別アドバイスを行う。							
		⑰ 進路目標を持ち、その実現に向けて努力している生徒が75%以上である。	早期に卒業後の進路を意識し、モチベーションを維持できるように指導する。							
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	7 家庭に積極的に情報発信して、連携が取れていますか。	⑱ 生徒の育成について、学校と保護者の連携がとれていると感じている保護者が80%以上である。	ゼミ担任から保護者への連絡を密に行い、行事等における保護者との連携の機会を増進させる。							